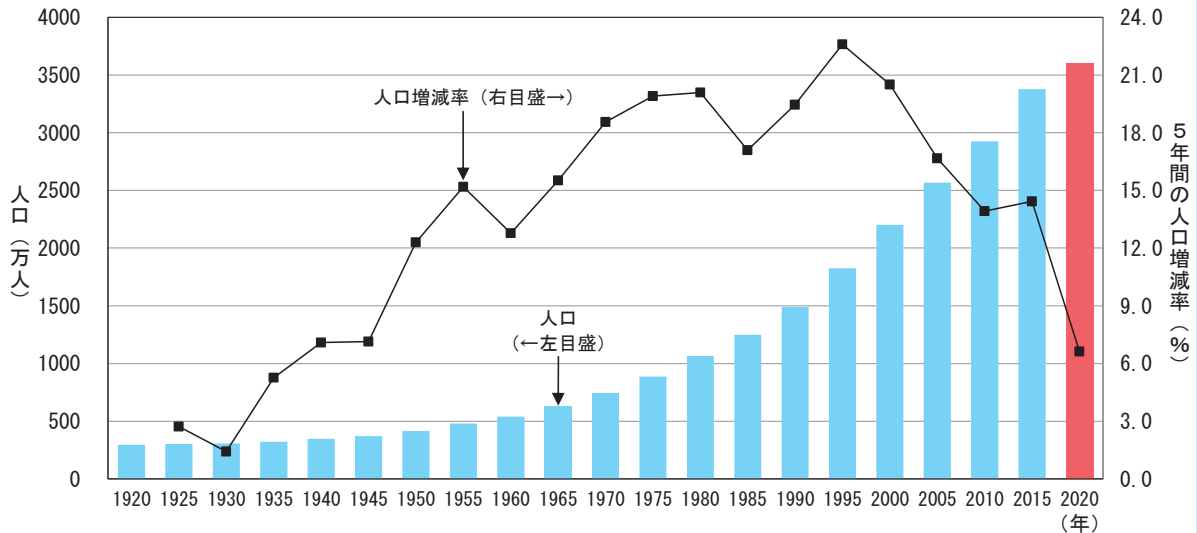


2-10 高齢者 —成熟社会の日本—

「日本は長寿国」といわれていますが、65歳以上の人口はどれくらいいるのか知っていますか？ 高齢化の実態についてみていきましょう。

Q1 65歳以上人口はどれくらい？

65歳以上の人口及び人口増減率の推移—全国（1920年～2020年）



注) 2015年及び2020年の実数は不詳補完値による。

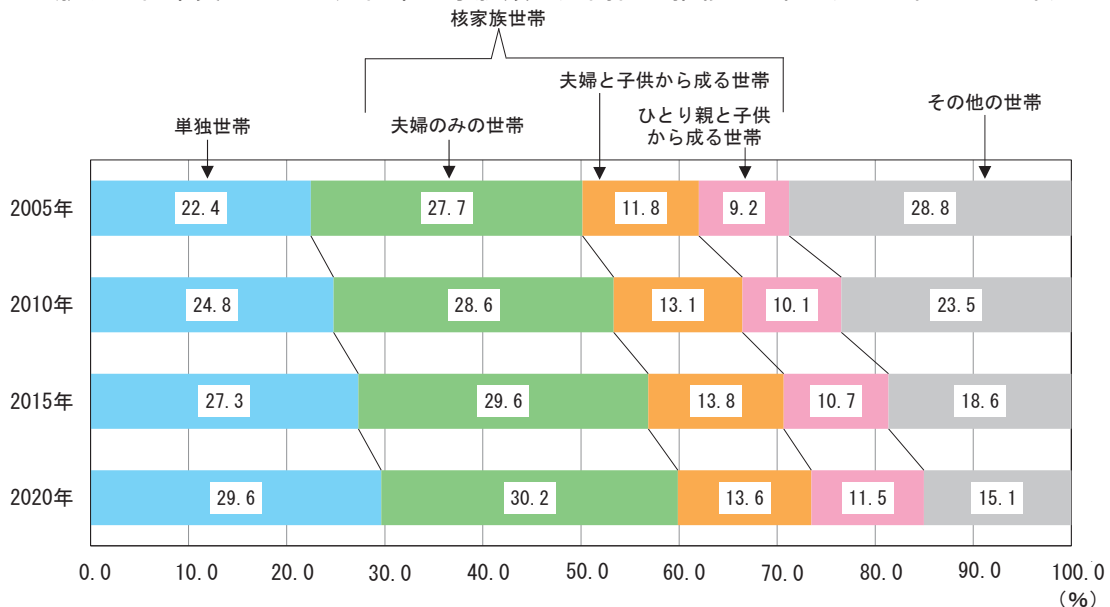
なお、2020年の人口増減率は不詳補完値により、2015年以前の人口増減率は原数値により算出

A 2020年の65歳以上人口は3603万人

- ◆ 2015年に引き続き3000万人を超えた
- ◆ 2020年は、5年前と比べて224万人（6.6%）の増加

Q2 65歳以上で一人暮らしをしている人はどれくらい？

65歳以上世帯員のいる一般世帯の家族類型別割合の推移—全国（2005年～2020年）



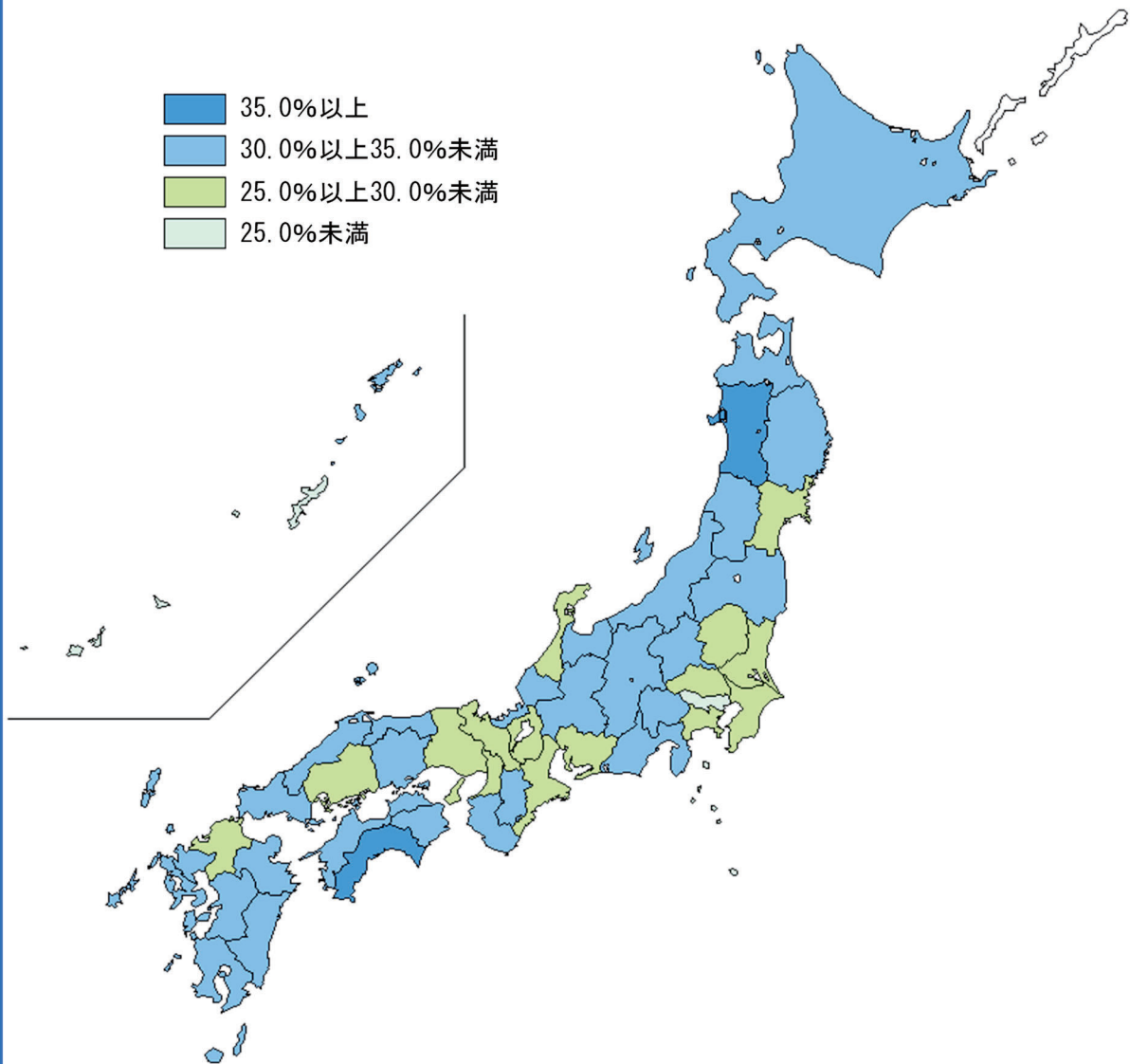
A 2020年は、65歳以上世帯員のいる世帯のうち、「単独世帯」の割合が約3割

- ◆ 単独世帯の割合が上昇する一方、3世代世帯などを含む「その他の世帯」の割合は低下が続く

注意点⑪ P. 40

Q3 65歳以上人口の割合が最も高い都道府県はどこ？

65歳以上人口の割合－都道府県（2020年）



注) 不詳補完値による。

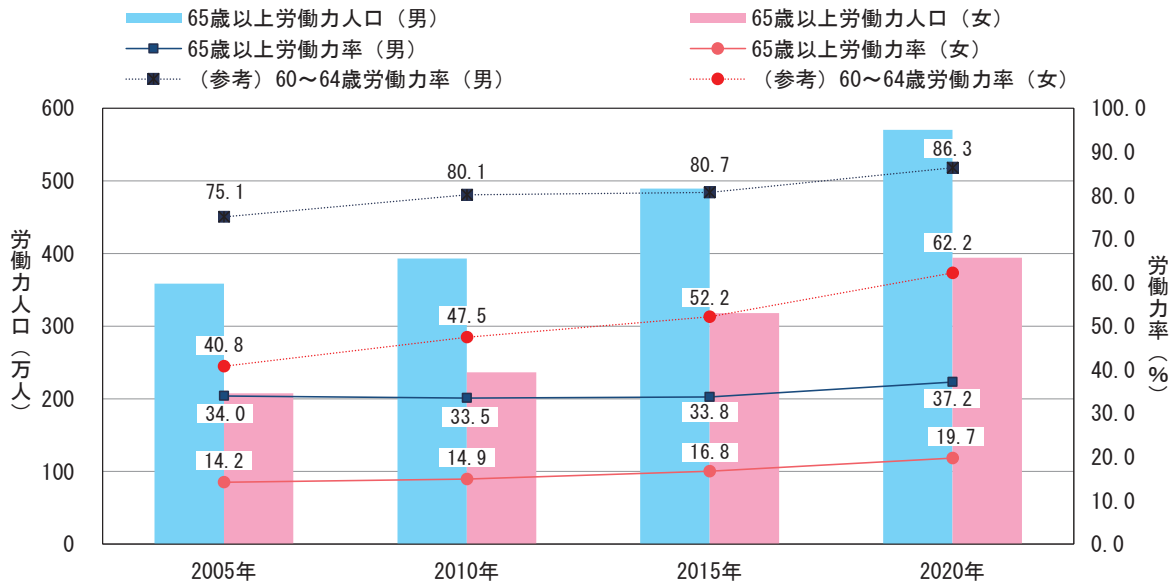
A 秋田県が37.5%と最も高い

- ◆ 2位 高知県（35.5%） 3位 山口県（34.6%）
- ◆ 65歳以上人口の割合が最も低いのは沖縄県（22.6%）で、全ての都道府県において2割を上回っている

※ 市区町村別65歳以上人口の割合は60ページの人口地図をご覧ください。

Q4 65歳以上で働く人の割合をみてみると？

男女別 65歳以上労働力人口及び労働力率の推移—全国（2005年～2020年）



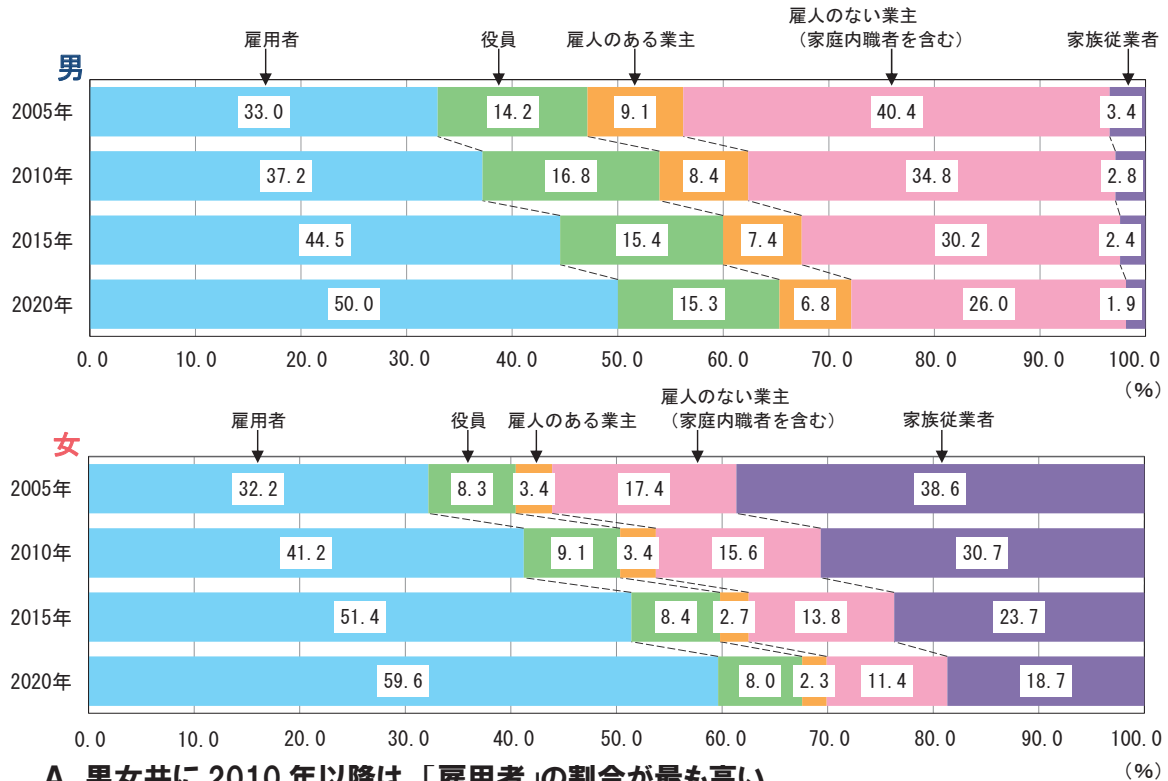
注）2015年及び2020年は不詳補完値による。

A 男性、女性共に上昇傾向にあり、2020年は男性は37.2%、女性は19.7%

- ◆ 65歳以上労働力人口は男女共に増加し、2020年は男性は571万人、女性は394万人

Q5 65歳以上で働く人はどのような就業形態？

65歳以上就業者の男女、従業上の地位別割合—全国（2005年～2020年）

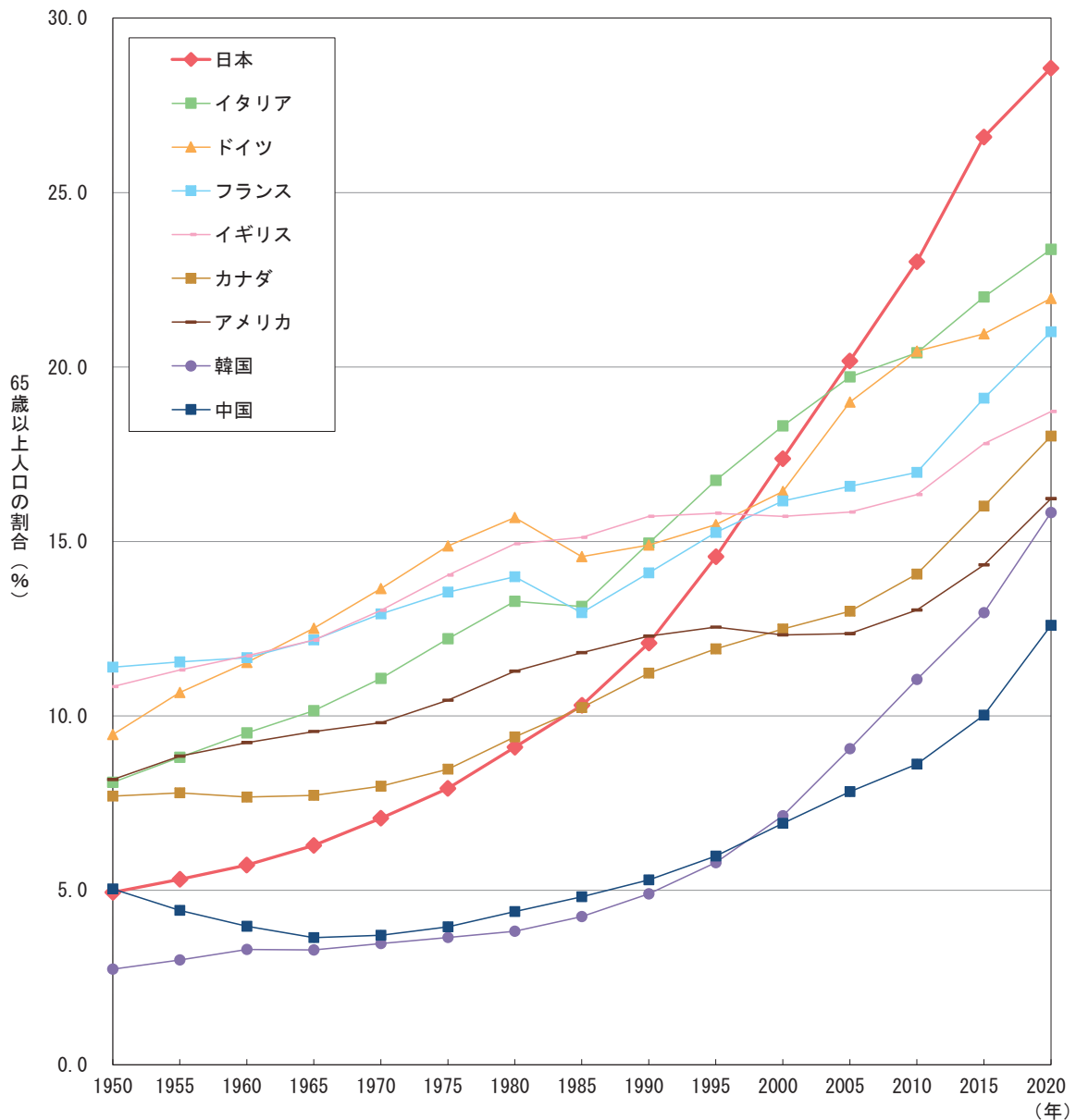


A 男女共に2010年以降は、「雇用者」の割合が最も高い

- ◆ 2005年は、男性は「雇人のない業主（家庭内職者を含む）」、女性は「家族従業者」の割合が最も高かった

Q6 日本の65歳以上人口の割合を諸外国と比べると？

65歳以上人口の割合の推移—諸外国との比較（1950年～2020年）



資料：United Nations, "World Population Prospects, The 2022 Revision"による年央推計値。

ただし、日本は国勢調査の結果

注) 日本の2015年及び2020年は不詳補完値により算出

A 2020年の65歳以上の割合は諸外国の中で、他国を引き離して最も高い水準(28.6%)

- ◆ 諸外国の中で65歳以上人口の割合が高いのは、
2位 イタリア(23.4%) 3位 ドイツ(22.0%)

※ ここでいう諸外国とは、G7(日本、アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア)、韓国及び中国を指しています。